

# 農作業事故は決して 他人事ではありません

## ■ 2023年(令和5)農作業事故調査結果 (愛知県農業経営課調べ)

### 1. 2023年1月～2023年12月に発生が確認された事故総数

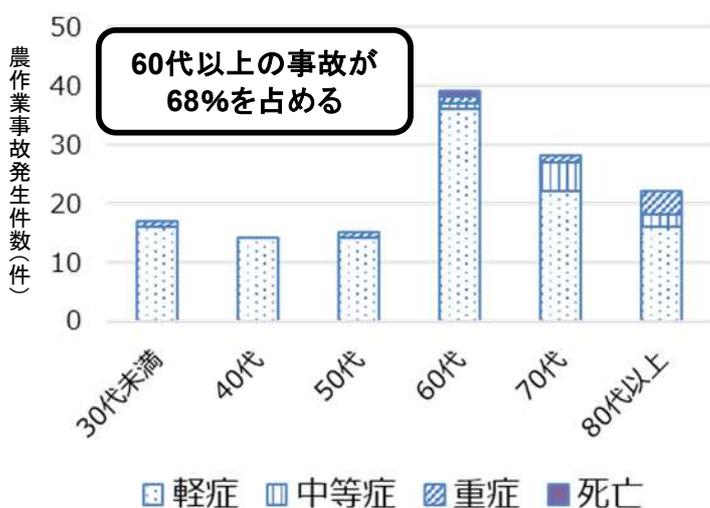
県内で確認できた農作業事故は180件（前年127件）発生しています。  
【内訳 死亡：4件、重症：19件、中等症及び軽症：152件、不明：5件】

※農作業事故の区分は、重症が入院3週間以上の事故、中等症が入院3週間未満の事故、軽症が入院無しの事故と整理しています。

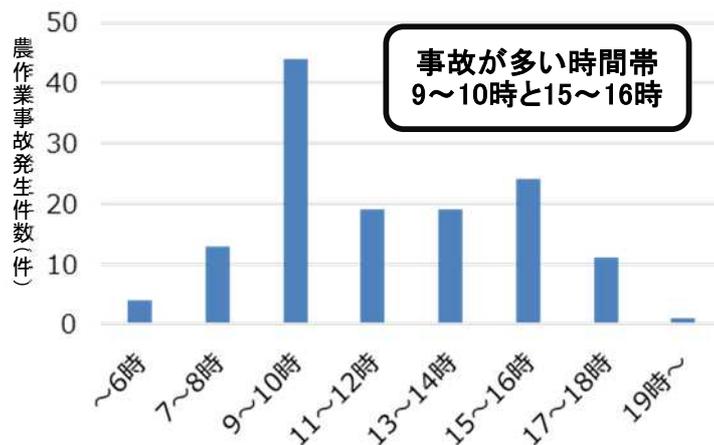
### 昨年愛知県内で発生した事故事例

| 年齢  | 事故の状況                                    |
|-----|--|
| 60代 | トラクター作業中、用水路に転落。トラクターの下敷きになり死亡。          |
| 40代 | スピードスプレーヤーが路肩段差に乗り上げ横転、重症。               |
| 50代 | 耕耘機を後進しようとしたところ、足を滑らせ転倒し、耕耘爪に左下肢が挟まり、重症。 |
| 60代 | 耕耘作業中に、ズボンがひっかかり耕耘機に右下肢が挟まり、重症。          |

### 2. 年齢別農作業事故発生件数



### 3. 時間帯別事故発生件数



愛知県農業水産局農政部農業経営課 環境・植防・肥料農薬取締グループ

名古屋市中区三の丸3-1-2 (〒460-8501)

電話 052-954-6411 (ダイヤルイン)

FAX 052-954-6931

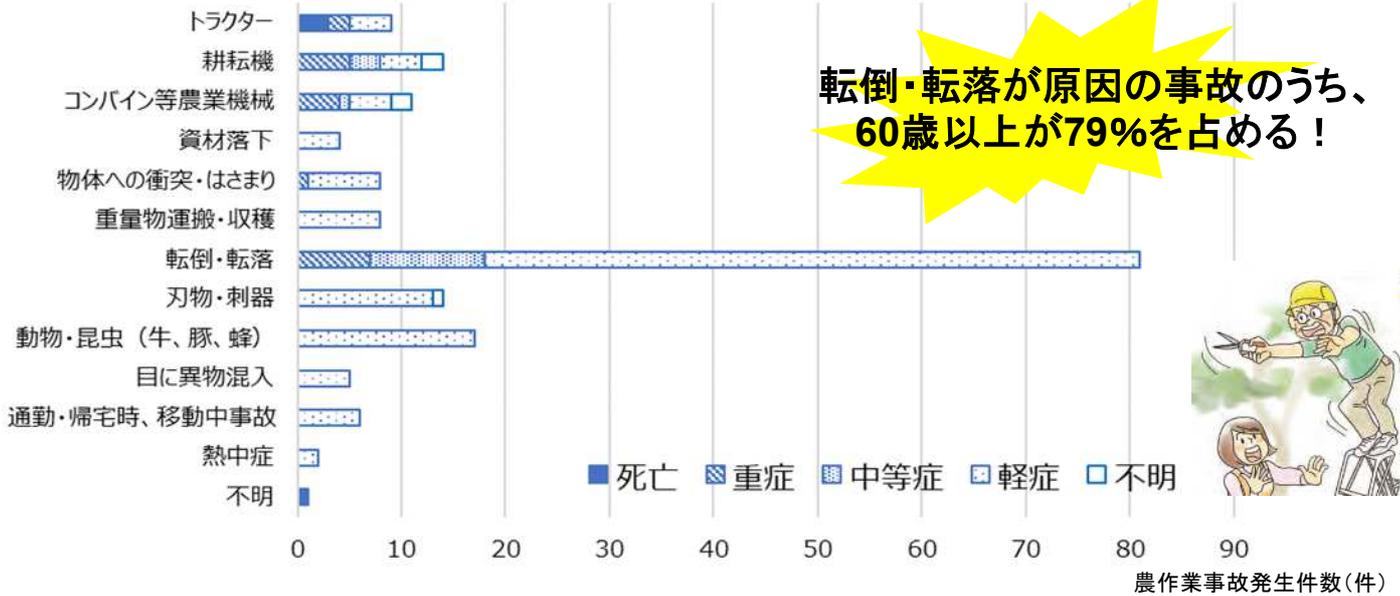
E-mail nogyo-keiei@pref.aichi.lg.jp

○農研機構「農作業安全情報センター」のホームページも参考にしてください。

URL: <http://www.naro.affrc.go.jp/org/brain/anzenweb/>

# 転倒・転落が原因の事故が多発！（2023年81件）

事故原因別の発生件数と受傷程度



転倒・転落が原因の事故のうち、60歳以上が79%を占める！



| 年齢  | 転倒・転落が原因の事故の状況                              |
|-----|---|
| 60代 | 排水路の草刈り中、雨の後だったため足を滑らせて転倒。胸を強打。             |
| 70代 | 柿の収穫中に脚立から足を滑らせて落下。あばら骨11本骨折。               |
| 80代 | 段々畑で作業中、長靴を履いていて落ち葉で滑り、2 m下の田んぼに転落。腰椎圧迫骨折等。 |

## 耕耘機事故の3つの特徴

### 1 圧倒的に多いバック時の事故

- バックの時、後ろの立木、格納庫の壁などに押しつけられ、首が挟まって窒息。
  - バック時に足下が引っかかり、踏いて、そのままロータリーに巻き込まれた。
- ⇒後退、バックの際は、必ず後ろを確認。

### 2 固い土・石等でのダッシング・キックバック

- ダッシング ⇒最初から深く耕さない
- キックバック ⇒ロータリーと足の位置は常に余裕を持って

### 3 車への積み降ろし時の事故

⇒確実に歩み板を固定して！

耕耘機の事故も多い！



## 脚立(三脚)使用の5つのポイント

### 1 設置時にトントンと足を踏み込む

最下段に乗って、体全体で脚立の足を踏み込み、脚立を安定に設置する

### 2 天板に乗らない

必要なら、より高い脚立を使用、樹高を低くする

### 3 開脚防止チェーンをかける

チェーンが短い場合、紐などで延長する

### 4 昇降時に物を持たない工夫

収穫物は、紐などで吊して降ろす

### 5 脚立から身を乗り出さない

身を乗り出さず、こまめに脚立を移動、直近で作業できるように

## 国際水準GAPの5分野のうちのひとつが「労働安全」です（国際水準GAPガイドラインより）

- 農場の中の危険な箇所や危険な作業等、農作業事故の要因となるものを確認し、リストアップする。
- 作業環境の整備、安全に作業を行うための服装や保護具の着用・管理する。
- 機械、装置、器具等は、取扱説明書等により適切な使用方法や注意・禁止事項を確認して、適正に使用する。

## 熱中症に注意してください！ 環境省「熱中症予防情報サイト」

<https://www.wbgt.env.go.jp/>

◆熱中症警戒アラート等メール配信サービス

(スマートフォンから)



[メール配信]



[環境省LINE]